

平成26～27, 29～30年度 文部科学省研究開発学校研究テーマ
「未来を拓く力」を育成する教育課程の開発(3年次)

熊本大学教育学部附属中学校
平成29年度研究発表会のご案内
(最終案内)



社会の変化に対応し未来を拓くために必要な「思考力」を育成するための新教科「未来思考科」を位置付けた教育課程，未来思考科の指導内容，指導方法及び評価方法についての研究開発

ごあいさつ

時下，ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて，本校では，平成26年度から文部科学省研究開発学校の指定を受け，「『未来を拓く力』を育成する教育課程の開発」をテーマに，4年間の研究を進めているところです。

熊本地震に伴う昨年度1年間の研究開発学校指定休止期間を経て，今年度から再び3年目の取り組みとして，社会の変化に対応し未来を拓くために必要な「思考力」を育成するための新教科「未来思考科」を位置付けた教育課程の開発を進めて参りました。

また，本研究発表会では，新教科「未来思考科」だけでなく，「思考力・判断力・表現力」を育成する各教科の授業づくりの提案をさせていただきます。

つきましては，ご多用の折りとは存じますが，ぜひご参加をいただき，ご指導ご助言を賜りたくご案内申し上げます。

熊本大学教育学部附属中学校 校長 島谷 浩

主催
後援

熊本大学教育学部附属中学校

熊本県教育委員会

熊本市教育委員会

熊本大学教育学部同窓会

熊本大学教育学部附属中学校同窓会

熊本大学教育学部附属中学校教育後援会

日時 平成29年10月14日(土) 9:00～16:00

会場 熊本大学教育学部附属中学校

〒860-0081 熊本市中央区京町本丁5番12号

電話 096-355-0375

FAX 096-355-0379

日程

8:30	9:00	9:20	9:25	10:15	10:30	11:20	11:35	12:30	13:30	14:10	14:30	16:00
受付	研究概要説明	移動	公開授業①	移動	公開授業②	移動	授業研究会 各教科	昼食	授業研究会 未来思考科	移動	講演	閉会行事

公開授業① 9:25～10:15

公開授業② 10:30～11:20

教科等 学年	単元名	授業者
国語 1年	「スズメは本当に減っているか」	今井 克彦
理科 3年	運動とエネルギー	二子石将顕
技術 2年	エネルギー変換に関する技術	三浦 寿史
英語 2年	Homestay in the United States	神 智子
未来思考科 1年	ロボット開発に向けて 企画・提案しよう	井上 健
未来思考科 2年	私たちが提案する防災計画書 (物資輸送編)	坂田 秀一
未来思考科 3年	熊大附中発 恩返しプロジェクト ～防災ゲームを使って～	東 克彦

教科等 学年	単元名	授業者
社会 3年	これからの人権保障	小田 修平
数学 1年	変化と対応	河本 健二
美術 2年	仏像の鑑賞	村田 崇
家庭 1年	よりよい食生活を目指して	青木 良枝
未来思考科 1年	駅伝大会で栄光をつかみとろう	前田 路子
未来思考科 2年	プチ哲学	中村 幸介
未来思考科 3年	熊大附中発 恩返しプロジェクト ～防災ゲームを使って～	沖田 史佳

各教科授業研究会 11:35～12:30

教科等	助言者	研究協力者	本校教員
国語	仁野平 智明 (熊本大学教育学部 准教授)	益田 俊男 (熊本市立河内中学校)	今井 克彦 中村 幸介 沖田 史佳
社会	竹中 伸夫 (熊本大学教育学部 准教授)	龍野 成敏 (熊本市立龍田中学校)	坂田 秀一 小田 修平
数学	宮崎 誓 (熊本大学教育学部 教授)	下田 桑太郎 (熊本市立楠中学校)	河本 健二 日方 和光 澤田 昌宏
理科	福島 和洋 (熊本大学教育学部 教授)	田代 博士 (熊本市立富合中学校)	井上 健 坂田 孝久 二子石将顕
美術	川野 智子 (熊本市立吉松小学校 校長)	清田 学 (熊本市立錦ヶ丘中学校)	村田 崇
技術	田口 浩継 (熊本大学教育学部 教授)	幸恵 賢一 (熊本市立楠中学校)	三浦 寿史
家庭	宮瀬 美津子 (熊本大学教育学部 教授)	粟田 佳代 (熊本市立錦ヶ丘中学校)	青木 良枝
英語	長嶺 寿宣 (熊本大学教育学部 准教授)	林田 武海 (熊本市立桜山中学校)	神 智子 植村 正洋

未来思考科授業研究会 13:30～14:10

教科等	会場	本校教員
未来思考科 1年	附属小学校多目的ホール	井上 健 前田 路子 河嶋 里亜
未来思考科 2年	附属小学校体育館	坂田 秀一 中村 幸介 井手口 哲子
未来思考科 3年	熊本大学教育学部附属教育実践総合センター	東 克彦 沖田 史佳 澤田 昌宏 植村 正洋

本校の研究について

社会の変化に対応し未来を拓くために必要な教科横断的な「思考力」を育成するため、第1～3学年に各教科で育成された思考力を束ねて、強化する新教科「未来思考科」を新設します。クラス単位で行われる未来思考科の授業で自らの思考や活動をメタ認知的にとらえる力を育成するとともに、既存の各教科の授業や総合的な学習の時間における探究学習においても未来思考科との関わりを意識した授業や活動を行うことで、各教科、総合的な学習の時間で身に付けたい力に関しても、より効果的・効率的に育成することができると考えています。

「未来を拓く力」を育成する教育課程




コース別探究学習

18のコースから自分が調べてみたい分野や内容を選択し、

- ① 課題発見・設定
- ② 情報の収集
- ③ 整理・分析
- ④ まとめ・表現

の4つのプロセスでグループの探究活動を行います。その後、探究活動を振り返ってレポートとしてまとめ、グループごとにプレゼンテーションを行い、相互に評価し合います。



教科横断的な教科型の学習課題

教科の枠を越えて複数の教科の視点から解決する課題を提示します。また、1年生では、思考スキルや思考ツールを活用した課題解決方法やプログラミング教育、2年生では英語を使ったコミュニケーション活動、3年生では財政教育プログラムを関連させた教材などを扱います。



汎用的な資質・能力を明確にした「思考力」の育成

未来思考科は汎用的な資質・能力の1つである「思考力」の育成を中心に据えた新しい教科です。本校ではこの「思考力」を次の3つの要素に分類し、発達段階に応じて育成するようにしています。

要素1 論理的・批判的思考力
要素2 課題発見解決力・創造力
要素3 メタ認知力

《課題例》2年 要素2 創造力
 現在あるスポーツの特徴を変えたり、他のスポーツの特徴を取り入れたりして、ニュースポーツを考案し、実際にやってみよう。

教科の本質に迫る「パフォーマンス課題」

教科の本質的な問いや領域・単元の本質的な問いを踏まえて、生徒にとって真正の学習課題を単元に1つ程度設定します。また、ルーブリックを作成し、適切に評価するようにします。

《課題例》1年社会科
 あなたは、ある自動車会社の海外事業展開部のチームの一員です。この会社は、電気自動車の生産、販売において、海外進出を計画しています。この度、あなたはどこの国に事業展開していくかを提案することになりました。産業の特徴、生産力や消費力、住みやすさ(自然環境、政治・経済、文化の状況、人口)、日本との結びつきなどの視点から会社の利益はもちろんのこと、進出する相手国の持続的な発展、その国に進出するメリットとデメリットも踏まえて提案書を作成しなさい。

<10の考え方>を用いた思考の見える化

「主張」「根拠」「理由付け」を明確にした論理的な思考・表現を意識させます。また、「比較する」「多面的に見る」「批判的に考える」などの<10の考え方>、いわゆる思考スキルを用いて課題や発問の工夫を行います。生徒に発表させる際には、カードやシールを用いて生徒の思考を見える化し、価値付けや評価を行います。

考え方	思考のキーワード
比較	共通点は 相違点は
分類	この視点で分けると
関連	これらを関連付けると
類推	類似点から推測すると
一般	これらのことから
具体	例えば
多面	他の視点から
統合	合わせると
批判	本当にそう言えるのか
反証	反対の例を示すと

ICEモデルを参考にした振り返りの3視点

学習内容ごとくならず、既習内容や他教科とのつながり、活用場面や方法などを振り返って検討させます。この3つの視点は、未来思考科で育成する「メタ認知力」の評価の観点にもつながっていきます。

- ① 学習した内容(知識面や技能面)はどんなことでしたか。 知る
- ② 以前学習した内容や考え方のつながり(他教科とのつながり)は何ですか。 つなぐ
- ③ 学習した内容や考え方を、実生活や実社会にどのように生かすことができますか。また、どのような新たな問いが生まれてきましたか。 生かす

【未来思考科の配当時間】

第1学年	35時間	(1学期: 10時間)	2学期: 15時間	3学期: 10時間
第2学年	35時間	(1学期: 10時間)	2学期: 15時間	3学期: 10時間
第3学年	25時間	(1学期: 10時間)	2学期: 15時間	

講演 14:30～16:00

【講演】 「資質・能力」を育てるカリキュラムの設計 ——パフォーマンス評価を活かして——



講師 西岡 加名恵 先生

京都大学大学院教育学研究科 教授

主な著書に、『教科と総合学習のカリキュラム設計——パフォーマンス評価をどう活かすか』(単著, 図書文化, 2016年), 『「資質・能力」を育てるパフォーマンス評価——アクティブ・ラーニングをどう充実させるか』(編著, 明治図書, 2016年), 『パフォーマンス評価で生徒の「資質・能力」を育てる』(共編著, 学事出版, 2017年)などがある。

送信票は不要です。このページをコピーして記入し、そのまま FAXしてください。
 送付先 熊本大学教育学部附属中学校 FAX 096-355-0379

熊本大学教育学部附属中学校 平成29年度研究発表会 参加申込書 兼 誓約書

ご提出日 平成29年 月 日

所属機関名(学校名など)		住所 〒 _____ ()都・道・府・県		連絡先 電話: _____ FAX: _____	
参加者氏名	公開授業①	公開授業②	各教科 授業研究会	未来思考科 授業研究会	弁当注文 (700円)
例: 教諭 附属 太郎 (職名)	国 語	未来思考科 2年	国 語	未来思考科 1年 2年 3年	有・無
				未来思考科 1年 2年 3年	有・無
				未来思考科 1年 2年 3年	有・無
				未来思考科 1年 2年 3年	有・無

誓約書 上記の参加者は撮影した映像、写真、音声や、知り得た生徒の個人情報等については、研究や研修のための個人的使用に用途を限ります。また、熊本大学教育学部附属中学校または生徒とその保護者の承諾なく、その公表や発表を行いません。

代表者氏名(自署) _____

資料代	一般 2000円	/	学生・院生(現職は除く) 1000円
-----	----------	---	--------------------

- 注意事項等** **9月29日(金)締切** 資料準備の都合上、期日までにお申し込みください。(随時申し込み可)
- 弁当注文「有」の方は、お弁当代700円(税込・お茶付き)を、当日朝受付でお支払いください。
 - お書きいただいた個人情報は、当研究発表会の運営以外には使用いたしません。
- ◆ 天候等やむをえぬ理由で生徒が登校できない場合には、当日の日程を変更して実施いたします。変更等は、ホームページにて10月13日(金)までに連絡をいたします。

会場のご案内

- 空港から**
熊本空港 → (バス) 市役所前 又は 熊本交通センター
 → (バス) 京町本丁 → (徒歩) 熊大附属中
- JR上熊本駅から**
JR上熊本駅 → (徒歩) 熊大附属中
- バス利用**
各地 → (バス) 市役所前 又は 熊本交通センター
 → (バス) 京町本丁 → (徒歩) 熊大附属中
- 駐車場を準備しておりますが、限りがございます。乗り合わせや公共の交通機関のご利用等、ご協力をお願いします。



問い合わせ 不明な点はどうぞお尋ねください。担当 坂田 孝久 (さかた たかひさ)
 〒860-0081 熊本県熊本市中央区京町本丁5番12号 電話 096-355-0375 FAX 096-355-0379
 URL <http://www.kumamoto-fuchu.ed.jp> メールアドレス sakatatac@educ.kumamoto-u.ac.jp